



伊東MPS便い

夏本番を迎え、連日の猛暑で既に夏バテ気味ではないでしょうか？熱中症対策も含め、体調管理には十分気を付けてください！

さて、夏の風物詩といえば花火です。海上花火大会には観覧船も多数集まりますが、毎年、全国で花火観覧中に船同士が接触する事故や花火終了後の帰途、防波堤等に衝突する事故が発生しています。一昨年、「熱海海上花火大会」においても、花火観覧中の船舶が定置網に乗り揚げられる事故が発生しています。今年も「按針祭海の花火大会」や「熱海海上花火大会」には多数の観覧船が集まることが予想されますが、花火観覧船は、事故のないよう安全運航に努めて下さい。※ **最大とう載人員を厳守し、乗船者全員にライフジャケット着用も忘れずに！**

花火大会観覧時の事故に注意！

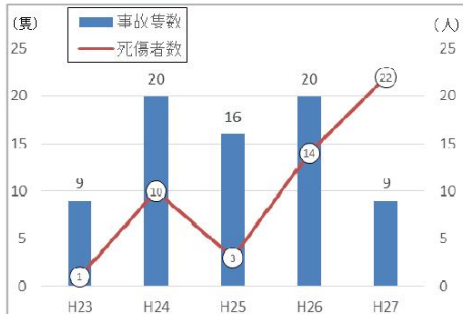
花火大会時の事故事例（28年7月発生）

花火大会観覧後の帰港中、漫然と前方を見ていたことにより、防波堤に衝突し、乗船していた7名全員が負傷しました。

- ・胸椎破裂骨折で全治不明
- ・頭部挫傷で全治1ヶ月
- ・右下顎挫傷（15針）で全治2週間 など



（※この写真は左記事例とは直接関係ありません）



花火大会に関連した事故隻数（過去5年）



<参考>花火大会を観覧する多数の船舶

「花火大会時」の重点注意事項

- **出港前に・・・**
事前に周辺の養殖いかだ、浅所などの障害物、防波堤、航路標識の場所などを確認しておきましょう。
- **観覧時は・・・**
周囲の船舶の動静に注意し、「**自船の位置確認**」を実施しましょう
操船者の**飲酒は厳禁**です！
- **終了後は・・・**
観覧していた多くの船舶が一斉に帰港します。
「**安全な速力**」と「**厳重な見張り**」を実施しましょう。

夜間の航行は、昼間と比べ**危険性**が増します。
楽しい花火大会、いつも以上に注意を！

